

第38回 電気泳動学会総会日程

総会会長 岩手医科大学 臨床検査医学講座 伊藤 忠一

会 期 昭和62年10月23日 (金), 24日 (土)

会 場 岩手県医師会館 (〒020 盛岡市菜園 2-8-20 電話0196-51-1455)

第1日 (10月23日, 金)

午前の部

9:00—9:05 開会の辞 (総会会長 伊藤 忠一)

9:05—11:53 一般演題 (1~14)

11:53—13:00 休憩 (評議員会)

午後の部

13:00—14:00 教育講演

14:05—15:05 特別講演

15:05—15:20 記念写真

15:20—17:08 一般演題 (15~23)

18:00—20:00 会員懇親会

第2日 (10月24日, 土)

午前の部

9:00—11:48 一般演題 (24~37)

11:48—12:50 休憩 (編集委員会)

午後の部

12:50—13:10 総会議事

13:10—13:40 児玉賞授賞式および受賞講演

13:40—16:40 シンポジウム (S1~S6)

16:40— 閉会の辞 (会長 平井秀松)

ポスターセッション

展示 第1日 9:30~17:00

第2日 9:00~14:00

討論 第2日

P 1~P 5 9:00~9:50

P 6~P12 9:50~11:00

P13~P18 11:00~12:00

お知らせとお願い

参加者の方へ

- 総会参加費として一人4,000円いただきます。会場受付でご納入下さい。受付終了後、参加章（名札）を見やすい所にお付け下さい。
- 学会費未納（昭和62年度会費6,000円）の方はこの機会にご納入下さい。
- 第1日目、10月23日（金）18：00より南部会館において会員懇親会としてわんこそば大会を開きます。景品も準備してありますので奮ってご参加下さい。懇親会費2,000円は総会会場受付で総会参加費と共にお納め下さい。なお、一般演題終了後に懇親会場行きの貸切バスを用意します。
- 昼食は特に用意しませんが、会館近くに多数の食堂があります。

一般演題口演者の方へ

- 講演時間は1演題につき8分、討論時間は4分です（時間厳守）。
- スライドは35mm判に限り、10枚以内とします。映写機は1台だけ用意します。スライド受付は講演30分前までに行い、各自でチェンジャーに挿入して試写して、順序、向きを確認して下さい。講演終了後、スライドを同受付でお受取り下さい。
- 次の演者は10分前までに次演者席にお着き下さい。

一般演題ポスター発表の方へ

- 縦140cm（高さ240cm）、横120cm、の木製パネルを1演題につき1枚用意します。パネル面の使い方（字数、字の大きさ、図表 etc.）は自由ですが、上から30cm以内に演題、氏名、所属を表示して下さい。
- ポスターの掲示は第1日9：30までに完了して下さい。紙、テープ類は用意してあります。討論時間は第2日9：00～12：00です。各演者はプログラムに従った時間帯にポスターの場所にご集合下さい。
- ポスターの撤去は第2日17：00までに行ってください。

交通・宿泊案内

- 「生物物理化学」31巻3号掲載の総会開催案内第1報をご覧ください。
- 取扱い業者：近畿日本ツーリスト盛岡支店
〒020 盛岡市中央通2-2-5 Tel 0196-51-2331

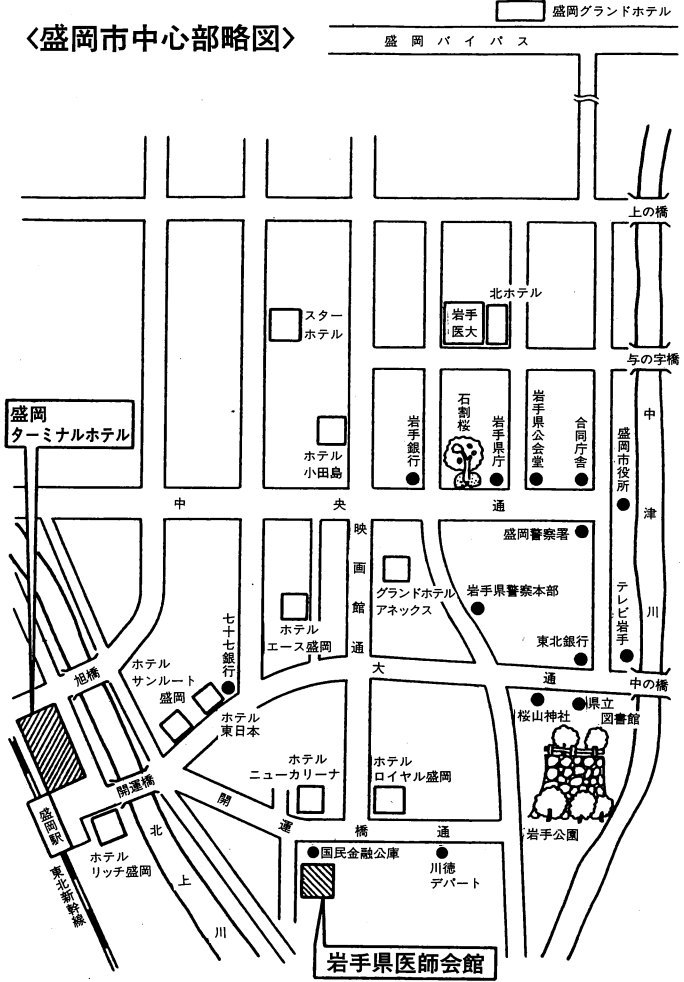
連絡先

〒020 盛岡市内丸19-1 岩手医科大学 臨床検査医学講座
Tel 0196-51-5111 (3249)

会場案内

- 特別講演・教育講演・受賞講演・シンポジウム・一般演題・総会：大ホール（4階）
- ポスターセッション：閲覧室（3階）
- 評議員会・編集委員会：中会議室（3階）
- 展示会：視聴覚室（3階）
- 大会本部：中会議室（3階）

〈盛岡市中心部略図〉



盛岡駅より徒歩10分 タクシー約 ¥500

第38回電気泳動学会総会プログラム

第1日 (10月23日)

〔教育講演〕

賢治スペクトラム—科学・求道, そして芸術—

13:00~14:00

司会

小野 繁

岩手医大・教養・化学

力丸 光雄(303)

〔特別講演〕

Recent advance in the instrumental analysis of proteins

14:05~15:05

司会

伊藤 忠一

Unit for Cancer Research,
University of Leeds,
England.

E.H. Cooper, P.J. Jackson,
R. Turner and C.J. Sampson.
.....(304)

第2日 (10月24日)

〔児玉賞受賞講演〕

前立腺特異抗原, とくに γ -Seminoprotein について

13:10~13:40

司会

平井 秀松

久留米大・医・法医学

原 三郎.....(305)

〔シンポジウム〕

13:40~16:40

「Blotting 技術の臨床的展開」

司会

河合 忠
谷口 直之

1. Blotting 技術と応用

大阪大・医・生化学

榎谷 誠三・○谷口 直之... (306)

同上・第2外科

杉山 俊博
森 武貞

2. Western blotting による血漿蛋白の解析

自治医大・臨床病理学

○櫻林郁之介(307)

3. Southern blotting による HLA 抗原の解析

防衛医大・検査部

○関口 進.....(308)

4. Northern blotting による肝組織における癌遺伝子発現動態の解析

大阪大・医・第1内科

○古沢 俊一・林 紀夫... (309)

5. 遺伝子解析技術のウイルス性疾患診断への応用

秋田大・医・臨床検査医学

○中込 治(310)

6. Blotting 技術による ENA の解析

慶応大・医・内科

○東條 毅・三森 経世... (311)
岡野 裕・小笠原 孝

〔一般演題・口演〕

第1日(10月23日)

午 前 の 部

(9:05~9:41)

座 長

大谷 英樹

1. 熱凝固反応で特異な異常を示した Bence Jones 型多発性骨髄腫の1例
2. セルロースアセテート膜と反応する IgG- κ 型 M-蛋白の免疫化学的特性
3. アガロースゲルと反応する IgM- κ 型 M-蛋白の免疫化学的特性

国立仙台病院・臨床検査科
国立療養所西多賀
病院・臨床検査科
花園病院・研究検査科
自治医大・臨床病理学

○中野渡裕治・成田紀久男…(312)
山崎 孝文

藤田 清貴
櫻林郁之介

秋田中通病院・検査科
同上・内科
花園病院・研究検査科
自治医大・臨床病理学

○鎌田まり子・谷中 寿江…(313)
稲葉龍太郎
藤田 清貴・草薨 睦子
櫻林郁之介

市立秋田総合病院・検査科
花園病院・研究検査科
同上・内科
自治医大・臨床病理学

○佐藤 寛……………(314)
藤田 清貴・草薨 睦子
寺邑 能実
櫻林郁之介

(9:41~10:17)

座 長

菅野 浩

4. Western blot 法による ENA 抗体対応抗原の解析
5. 細管式等速電気泳動法による血小板膜蛋白分解酵素処理液の分析
6. Glycated albumin に対する特異抗体の精製とその性質

岩手医大・中検
同上・臨床検査医学

○豊巻 和司……………(315)
伊藤 忠一

自治医大・血液学・人間生物学
自治医大・人間生物学・法医学

○梶井 英治……………(316)
池本 卯典

昭和大・医・第1生化学

○西村 敏郎・牧野 義彰…(317)
金丸 育恵・紺野 邦夫

(10:17~10:53)

座 長

谷内 昭

7. 電気泳動法による胎児性ヘモグロビンの測定
8. Jackfruit レクチンによる分泌型 IgA の2つの subclass への分離と、 γ -グロブリン製剤からの IgG 以外の各種免疫グロブリンの除去
9. レクチンを用いる固定化糖蛋白質による抗血清の分離精製法

チバコーニング
ダイアグノスティックス
築地産院・小児科
国立小児病院・新生児科
国立小児病院・小児医療研究
センター・病態生理

○小澤 仁子……………(318)

本間 洋子
河野 寿夫
宮坂 勝之

山口大・医・小児科

○近藤 穂積・小林 邦彦…(319)
萩原 啓二

山形大・医・法医学
鳥取大・医・法医学

○梅津 和夫・鈴木 庸夫…(320)
湯浅 勲

(10:53~11:29)

座 長

赤井 貞彦

10. チオグリコール酸を用いた SDS-電気泳動法による大動脈壁コラーゲンの分離

山口大・医・脳外科
山口大・医・生化学

○井上 信一・青木 秀夫…(321)
中村 和行・竹尾 和典

- | | | |
|---|--|-------------------------------------|
| 11. ラット α -フェトプロテインバリエーションのレクチンアフィニティ電気泳動による分析 | 腫 瘍 研 | ○平井 秀松・多賀 弘子…(322)
佐藤 友子・五十嵐みどり |
| 12. アルブミンおよび AFP 遺伝子のメチル化と遺伝子発現について | 札幌医大・第1内科
カルガリー大・医・生化学
札幌医大・第1内科 | ○東出 俊之・今井 浩三…(323)
玉置 大器
谷内 昭 |

(11:29~11:53)

座 長 林 泰三

- | | | |
|--|--------------------------|---------------------------------|
| 13. 細管式等速電気泳動による髄液グルタミンの定量 | 杏林大・保健
国立千葉病院・神経科 | ○平岡 厚・三浦 勇夫…(324)
富永 格・服部 宗和 |
| 14. 高速液体クロマトグラフィによるヒト脳脊髄液中のインドールアミンの測定 | 都老人医療センター病理部
東大・医・病理学 | ○田口 智也・嶋田 裕之…(325)
森 亘 |

午 後 の 部

(15:20~15:56)

座 長 池本 卯典

- | | | |
|---|---|---|
| 15. 雄性ラットの尿中蛋白質の電気泳動像について：エストラジオール投与の影響 | 東京女子医大・生化学
国立小児病院・研究検査
東京女子医大・第2病理学 | ○降矢 熒・中尾 順子…(326)
萩原美津子・吉田 真美
木下 忠雄
梶田 昭・豊田 永康 |
| 16. マウス小脳の生後発生に伴う蛋白質変化の2次元電気泳動法による解析 | 東京学芸大・生物学 | ○浅賀 宏昭・井上 勤…(327) |
| 17. ラット小脳の発生生化学的研究 | 東京学芸大・生物学 | ○田村 真弓・浅賀 宏昭…(328)
井上 勤 |

(15:56~16:32)

座 長 井上 勤

- | | | |
|---|--|---|
| 18. 大腸菌におけるペプシノゲン蛋白産生 | 東大・医・第1内科
同・医科研・癌生物
同・理・生物化学 | ○三木 一正・一瀬 雅夫…(329)
遠藤 康夫・岡 博
降旗 千恵・松島泰次郎
高橋 健治 |
| 19. ストレプトリジンOおよびSによる溶血曲線の傾きとpI分布 | 麻布大・環保・生物有機化学 | ○鈴木 潤・吉原 英児…(330)
井上 太助・小林 貞男 |
| 20. 神経変性疾患における髄液トランスフェリンの microheterogeneity 変動の臨床的意義 | 関東通信病院・神経内科
同・医用情報研究所・3研
東京医歯大・医・検・生化学 | ○新井 雅信・高橋 浩士…(331)
織茂 智之・黒沢 崇四
冷牟田英三
岩田 厚子・岩崎 隆
芝 紀代子 |

(16:32~17:08)

座 長 橋本 信也

- | | | |
|---|------------|-----------------------------------|
| 21. 肝疾患と血清ハプトグロビン・ α_1 -アンチトリプシン遺伝子との関連性 | 鳥取大・医・第2内科 | ○岸本 洋輔・山田 貞子…(332)
周防 武昭・平山 千里 |
| 22. Thrombotic Thrombocytopenic Purpuraにおける血漿異常高分子 von Willebrand factor multimer | 弘前大・医・第1内科 | ○工藤 育男・相原 守夫…(333)
沢田 美彦・吉田 豊 |

- | | | |
|------------------------------------|---------------------------|--|
| 23. 悪性腫瘍における ras 遺伝子産物 p21 の発現について | 北里大・医・臨床病理学
北里 バイオケミカル | ○松渡 忠男・高崎 光紀…(334)
市川 恵子・大谷 英樹
小出 朝男 |
|------------------------------------|---------------------------|--|

第 2 日 (10月24日)

午 前 の 部

(9 : 00 ~ 9 : 4 8)

座 長 小林 貞男

- | | | |
|--|---|---|
| 24. 等電点電気泳動実験法の電極の接続法について | 東京医歯大・教養・物理学 | ○島尾 和男……………(335) |
| 25. セルロースアセテート膜等電点電気泳動法を用いたカリクレイン多様性成分の特異的高感度検出法 | 東京理大・薬・生化学 | ○鎌田 雅史・染谷 佳子…(336)
青木 一正・池北 雅彦
木村 和幸・守屋 寛 |
| 26. SDS および等電点電気泳動による血清 α 2-グロブリンの分析 | 北里大・医・臨床病理学 | ○市川 恵子・大貫 裕子…(337)
松渡 忠男・高崎 光紀
大谷 英樹 |
| 27. アガロース等電点電気泳動法による CRP の分画 第 4 報 | 自治医大・附属
病院・臨床病理部
天理よろず相談所
病院・臨床病理部 | ○山岸 安子・佐々木勝一…(338)
櫻林郁之介・河合 忠
宮西 節子 |

(9 : 4 8 ~ 10 : 2 4)

座 長 竹尾 和典

- | | | |
|---|---------------|-----------------------------------|
| 28. イモビラインを用いた O'Farrell の 2 次元電気泳動 1. pH 4 ~ 8 ゲルを用いた基礎条件の検討 | 放射線影響研・遺伝生化学 | ○浅川 順一……………(339) |
| 29. イモビラインを用いた O'Farrell の 2 次元電気泳動 2. 塩基性蛋白質の分離 | 放射線影響研・遺伝生化学 | ○金岡 里充・浅川 順一…(340) |
| 30. Immobiline pH gradient IEF を用いた diferric transferrin の生理作用の解析 | 昭和大・医・第 1 生化学 | ○金丸 育恵・牧野 義彰…(341)
西村 敏郎・紺野 邦夫 |

(10 : 2 4 ~ 11 : 0 0)

座 長 奥山 典生

- | | | |
|---------------------------------------|-----------------------------------|---|
| 31. 2 次元電気泳動法による歯肉溝浸出液中の蛋白分画 | 昭和大・歯・第 3 補綴

東京医歯大・医・検・生化学 | ○和田 緑・須藤 淳子…(342)
小池 勝・小溪 徹彦
鈴木 満・鈴木 潔
芝 燐彦
芝 紀代子 |
| 32. 種々患者血清のマイクロ 2 次元電気泳動による分析 (第 1 報) | 新潟大・理・化学
同上・医・検査診断学 | ○熱海 甲・菅野 浩…(343)
杉田 収 |
| 33. 蛋白質の無担体等速電気泳動の自動化 | 都立大・理・化学 | 真鍋 敬・○山本秀子…(344)
奥山 典生 |

(11 : 0 0 ~ 11 : 4 8)

座 長 大橋 望彦

- | | | |
|-----------------------------------|----------|----------------------------|
| 34. 蛋白質の無担体等速電気泳動におけるデータ処理システムの開発 | 都立大・理・化学 | ○真鍋 敬・山本 秀子…(345)
奥山 典生 |
|-----------------------------------|----------|----------------------------|

- | | | |
|---|-----------------------|---|
| 35. イヌ血清蛋白質の同定地図の作製 | 都立大・理・化学
日大・農獣医・外科 | ○真鍋 敬・橋爪 晶子…(346)
奥山 典生
菊池 典子・草場 治雄
佐藤 敬 |
| 36. ポリエステル不織布強化ポリアクリル
アミドゲルの電気泳動への応用 | 沼津高専・工業化学科
共立洋 醸 造 | ○鈴木 俊一・蓮実 文彦…(347)
北 奈津美・西沢 秀幸
藤井 忠代・福本 勉 |
| 37. 貴金属コロイドを用いる蛋白質高感度
染色法のウエスタンブロッティングへの
応用 | 沼津高専・工業化学科
東 洋 醸 造 | ○高野 正男・蓮実 文彦…(348)
福本 勉・藤井 忠代 |

〔一般演題・ポスターセッション〕

展示時間 第1日 9:30~17:00

第2日 9:00~14:00

討論時間 第2日

(9:00~9:40)

座長

坂岸 良克
牧野 義彰

- | | | |
|---|--|--|
| 1. ノイラミニダーゼを用いるアルカリホ
スファターゼアイソザイム分画法 | 岡山済生会病院・臨床検査科 | ○白方 隆晴・和田 行永…(349)
四木 和之 |
| 2. 原点から幅広い活性を呈した分離不能
ALPの症例 | 兵庫医大・中検 | ○桑原 純子・戸沢 辰雄…(350)
足立 香子・清水 慶久 |
| 3. ウサギのアルカリ性ホスファターゼア
イソザイムについて | 埼玉医大・生化学 | ○小山 岩雄・新井 葉子…(351)
坂岸 良克・菰田 二一 |
| 4. ALP ₁ の免疫電気向流法による検討
—ALP ₁ 中に immunoreactive IgA (α -
chains and secretory component) の
存在— | 新潟県立がんセンター
新潟病院・化学
同上・病理
同上・外科
新潟県立中央病院検査科
新潟県立十日町病院検査科 | ○佐藤 豊二……………(352)
鈴木 正武
赤井 貞彦
佐藤 一範
富永 一郎 |
| 5. 高ALP血症を示した小児のALPア
イソザイム | 虎の門病院・臨床化学
同上・小児科 | ○幸坂 康子・塚田 俊彦…(353)
中山 年正・北村 元任
竹内 治子・増井 公子 |

(9:40~10:40)

座長

菅野 剛史
戸沢 辰雄

- | | | |
|--|--|--|
| 6. 5'-AMP, Cibacron Blue F3G-A を
用いた affinity chromatography に
よる LDH-IgG 複合体の結合様式に
関する研究 | 花園病院・研究検査科
自治医大・臨床病理学 | ○藤田 清貴……………(354)
櫻林郁之介・河合 忠 |
| 7. IgG との結合が直接証明されないが、
IgG により LDH アイソザイム異常パ
ターンを呈した1例 | 山本組合総合病院・検査科
秋田大・産婦人科
花園病院・研究検査科
自治医大・臨床病理学 | ○熊地由紀子・村岡 利生…(355)
石井 惟弘
曾我 賢次
藤田 清貴
櫻林郁之介 |

- | | | |
|---|---|--|
| 8. LDH が Bence Jones 蛋白 (λ) に結合した一症例 | 自治医大・臨床病理学
同上・血液内科
花園病院・研究検査科 | ○荒川 光江・高橋 朋子…(356)
太田 拔徳・岩田 弘
櫻林 郁之介・河合 忠
岡田 誠治・小松 則夫
三浦 恭定
藤田 清貴 |
| 9. LDH アイソザイムにおける正常デンシトグラムの設定と患者デンシトグラムの解析 | 倉敷中央病院・中央検査科 | ○金光 房江・守谷ひとみ…(357)
林田 芳忠・川西 功躬
水島 淳 |
| 10. LDH H subunit 欠損3家系の Immunoblot 法を用いた解析 | 東京慈恵医大・臨床検査医学
浜松医大・検査部
虎の門病院
都立広尾病院
塩野義バイオメデイ
カルラボトリーズ | ○須藤加代子・内山 克己…(358)
井川 幸雄
前川 真人・菅野 剛史
塚田 敏彦・北村 元仕
上久 律子
伯耆 惟之 |
| 11. Immunoblot 法による LDH アイソザイムの解析
——LDH サブユニット欠損症への応用—— | 浜松医大・検査部
東京慈恵医大・臨床検査医学 | ○前川 真人・東 祐太郎…(359)
菅野 剛史
須藤加代子 |
| 12. LDH Hibrid 形成の検討 | 虎の門病院・臨床
化学・冲中記念成人病研 | ○川崎 理一・塚田 敏彦…(360)
中山 年正・北村 元仕 |
| (10:40~11:40) | 座長 | 尾形 稔
吉田 光孝 |
| 13. 高 AST/ALT 比症例における AST 結合性免疫グロブリンの頻度 | 旭川医大・検査部 | ○森山 隆則・信岡 学…(361)
牧野 幹男 |
| 14. 糖尿病動物の肝ホジネートにおける aminotransferase と Vitamin B ₆ について | 大阪医大・病態検査学
同上・中検
同上・第3内科
SRL・臨床化学部 | ○林 泰三・南原 征哲…(362)
田中 孝二
金田 惠孝・渡部 透
田中 孝生・小出 尚志
川尻 由子 |
| 15. 血清 aminopeptidase の電気泳動分析
——可溶性 aminopeptidase について—— | 浜松医大・検査部 | ○東 祐太郎・前川 真人…(363)
菅野 剛史 |
| 16. WGA 親和電気泳動による血清 γ -GTP アイソザイム | 慶応大・医・中検 | ○堀井 康司・松本宏治郎…(364)
入 久巳 |
| 17. 精漿中における γ -GTP の基礎的検討 | 埼玉医大・生化学
同上・総合医療セ
ンター・泌尿器
同上・生化学 | ○新井 京子……………(365)
内島 豊・斉藤 博
坂岸 良克 |
| 18. 異なる易動度の Dominant amylase-P2 | 兵庫医大・中検 | 戸沢 辰雄
○足立 香子・桑原 純子…(366)
清水 慶久 |